

# だて復興・再生 ニュース

伊達市

第 14 号

[編集・発行] 伊達市放射能対策課 〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 本庁舎3階 ☎575-1003

●平成26年5月22日発行

## 年間1ミリシーベルト=0.23 $\mu$ Sv/hの呪縛

先日、伊達市を含む4市(福島市、郡山市、相馬市)で井上環境副大臣に対し、放射能の基準について明確な指針を出すよう要請しました。

これは国が、「国民を放射能の健康被害から守るために、将来的には年間の累積被ばく線量を1ミリシーベルトを目指す」としていることについては、異論の無いところですが、これを現実に取り組んでいく場合、具体的な面で実態に即していないと思われる点があり、行政としても市民側からも誤解と混乱があるからです。

したがって、次の二つの事柄について、国としての見解を明確にして欲しいという要請をしたものです。

- ① 将来、達成するとしている1ミリシーベルトが、今すぐ達成されていないと安心できないという市民の受け止めに対し、では当面はどのように考えたら良いのか、例えば、当面どの程度(平成23年11月頃、民主党政権時代議論があった年間5ミリシーベルトなど)に考えたら良いのかという点について。
- ② 国は、「1ミリシーベルトを目指すとして、これを分かり易くするため、空間線量に換算すると、それは1時間当たり0.23マイクロシーベルトである。」としていることについて、市が測定したガラスバッジによる約5万人の1年間の実測値では、空間線量1時間当たり0.23マイクロシーベルトでは年間1ミリシーベルトに達しない。おおよそ、その2倍、1時間当たり0.46マイクロシーベルト程度でも、1ミリシーベルト未滿であります。これはチェルノブイリでの計算値、及び産総研の中西教授の指摘と一致していますから、国の示している0.23マイクロシーベルトは安全サイドであります。実態に即してはいないと言えます。むしろ、このことによって無用な不安を市民に与えていると思われるので、実態に即して、年間1ミリシーベルトは空間線量に換算して1時間当たり0.46~0.5マイクロシーベルトである、とすることについて、の2点について、示してもらいたいとするものです。

特に、②の件に関しては、除染がある程度進んできたことや避難者の帰還が問題になりつつある現在、大きな影響があるため早急な見解を示して頂かないと、除染や帰還についての計画が見通せないのが実情です。

環境省としてもその問題は承知していて、重大な関心を持っているということですから、国としての見解を示してくれるものと考えております。

伊達市長 仁志田 昇司

だて  
復興・再生  
最前線

## 集まれ! 伊達っ子吹奏楽の仲間達 市内中学生による吹奏楽の合同練習

平成24年度から、音楽を通して子どもたちに夢と希望をもってもらうことを目的とした「吹奏楽きらめき事業」が行われています。これは、市内6校の中学校吹奏楽部の生徒が、東京藝術大学生から演奏技術などの指導を直接受け、その成果を藝大生とともに、合同演奏会として発表してきました。

第3回合同演奏会は、平成26年5月25日(日)に保原体育館で開催されます。演奏会に先立ち、合同練習会が4月29日、保原市民センターで行われました。各中学校の吹奏楽部の生徒たちは、本番を前に緊張した面持ちの中にも、これまでの集大成としての合同演奏会に向け、6校合同による練習会で最後の調整を行いました。



合同練習風景

# 平成25年度ホールボディカウンタ(WBC)検査結果

## 受検者29,020人全員が1ミリシーベルト未満

市民の健康不安の解消及び健康管理を目的とした、ホールボディカウンタによる内部被ばくの検査の平成25年度(25年4月～26年3月)の受検状況についてお知らせします。受検者29,020人全員が預託実効線量(※)1ミリシーベルト未満でした。

※預託実効線量/体内に取り込んだ放射性物質について、物理的半減期や生物学的半減期(尿や便により体外に排出されること)を考慮して、一生の間(成人では50年間、子どもでは70歳まで)に体内から受けると思われる内部被ばく線量。

## 第1回目(平成23年10月～平成25年3月)との比較

第1回目の検査で放射性セシウムの検出があった方は受検者の約9%でしたが、第2回目の検査で検出があった方は受検者の約3%となり、第1回目と比較すると1/3程度に減少したことが確認できました。

検査結果について、伊達市健康管理アドバイザーの  
穴戸文男氏(福島県立医科大学 放射線医学講座教授)からは以下のコメントをいただいています。



平成25年度の内部被ばく検査の測定結果からは、健康に影響が心配されるレベルの数値のほうはいませんでした。日常生活において、国で定めた基準値を超える食物等を食べ続けることや、年1回のホールボディカウンタ検査の受検により確認することが大切です。

## 平成25年度の受検状況(平成26年3月末現在)

対象者区分	案内者数(対象者数)	受検者数	受検率	
18歳以下	未就学児	2,061人	1,041人	50.5%
	小学生	3,234人	3,168人	98.0%
	中学生	1,955人	1,871人	95.7%
	高校生	2,026人	811人	40.0%
	小計	9,276人	6,891人	74.3%
19歳以上	霊山	7,005人	2,867人	40.9%
	月舘	3,139人	1,382人	44.0%
	保原	18,892人	8,211人	43.5%
	梁川	15,270人	6,298人	41.2%
	伊達	8,978人	3,371人	37.5%
	小計	53,284人	22,129人	41.5%
計	62,560人	29,020人	46.4%	

ホールボディカウンタ検査は、食事などによって、体に入った放射性セシウムの量を測定するものです。平成26年度は、混雑を避けるため、5月から3回に分けてご案内しますので、ぜひ受検をお願いします。また、本年度から中野病院、梁川病院、福島県労働保健センターのどこでも受検いただくことができます。

※詳しくは「だて復興・再生ニュース」第13号をご覧ください。

# 外部被ばく線量測定の年次推移

## 全エリアで減少、Aエリアでは33.1%減

ガラスバッジによる外部被ばく線量測定にかかる年間平均個人被ばく線量の年次比較をお知らせします。各エリアとも前年と比べて25～33%前後の減少が見込まれます。

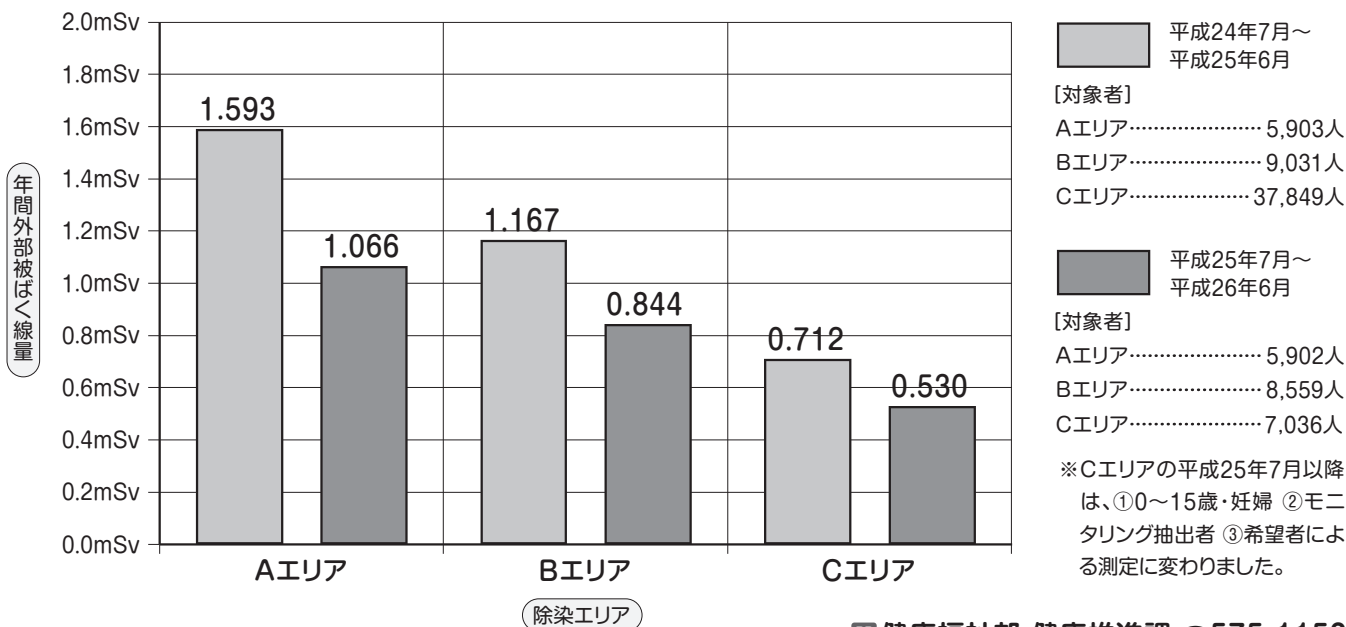
減少の要因は、除染が進んだことと放射性物質の自然減が考えられます。

## 年間外部被ばく線量の比較

平均個人被ばく線量

除染エリア	平成24年7月～平成25年6月 (年間実測)	平成25年7月～平成26年6月 ※(年間推計)	前年差(増減率)
Aエリア	1.593mSv	1.066mSv	▲0.527mSv (▲33.1%)
Bエリア	1.167mSv	0.844mSv	▲0.323mSv (▲27.7%)
Cエリア	0.712mSv	0.530mSv	▲0.182mSv (▲25.6%)

※年間推計は、平成25年7～12月(6ヶ月間)実測×2で算出しました。



# 伊達放射能健康相談窓口

放射線・放射能の不安が原因で、体調が不安定! 眠れない! 食欲ない! イライラする! どんな相談でもOKです。お話ししてみませんか。

実施日	時間	場所・連絡先
6月 3日(火)	9:30～11:30	保原保健センター ☎575-1153 保原町大泉大地内100 出張相談も行っています ◎予約制となります
6月10日(火)		
6月17日(火)		
6月24日(火)		



●相談員/放射線安全フォーラム会員 半谷 輝己さん

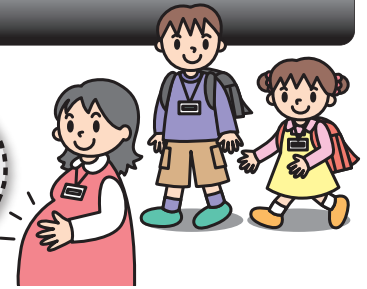
※医学的なことは医師の相談会にご案内する場合があります。

問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

# 7月以降のガラスバッチ測定について

## Bエリアは全員対象から無作為抽出のモニタリング測定に変わります

市では、健康管理の一環として、ガラスバッチ測定を引き続き実施します。7月からは、全員を対象としていたBエリアも無作為抽出となります。ガラスバッチが送付された方は、ご理解とご協力をお願いします。なお、対象とならなかった方でも、希望する方は測定できますので、下記担当までご連絡ください。



### 除染エリア

A エリア		地区	対象者
保原	富成・柱沢	①全員、継続対象となります。	
霊山	掛田・小国・石田の一部		
月舘	月舘と布川の一部		

### 除染エリア

B エリア		地区	対象者
Bエリア	A・Cエリア以外の地区	①0歳～15歳及び妊婦の全員 ②モニタリング測定(無作為抽出) 市全体の状況把握等を目的とした測定です。今後も線量の推移等をみなさんにお知らせしていくことで、不安解消を図ります。	
Cエリア			
保原	大田・保原		
霊山	大石・泉原		
伊達	全地区		
梁川	全地区		

※Bエリアの方については、対象が全員ではなくなります。継続して測定を希望する16歳以上の人は、下記担当までお申し込みください。

※Cエリアで、既に希望して測定をしている方へは、引き続きガラスバッチを送付します。

※現在測定していない人で、新たに測定を希望される方もお申し込みください。

●測定希望連絡先／伊達市ガラスバッチ担当：☎573-0538

●申込み期限／平成26年6月6日(金)

問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

## 市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定) (単位:マイクロシーベルト/時間)

測定地点	5/12	5/5	4/28
伊達総合支所 正面駐車場	0.20	0.20	0.20
梁川総合支所 正面銅像前	0.18	0.18	0.18
保原本庁舎 正面駐車場※	0.25	0.26	0.26
富成郵便局 県道路肩	0.23	0.23	0.24
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.57	0.56	0.57
富成グリーンタウン タウン内公園	0.39	0.39	0.38
富成十区集会所 入口	0.69	0.65	0.67
霊山総合支所 駐車場	0.24	0.23	0.21
霊山パーキング 駐車場中央※	0.31	0.30	0.31
坂ノ上集会所 入口	0.44	0.43	0.41
八木平バス停留所 回転場中央	0.29	0.32	0.28
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.29	0.28	0.26

測定地点	5/12	5/5	4/28
下小国中央集会所 入口※	0.38	0.37	0.38
岩代小国郵便局 国道路肩	0.26	0.28	0.27
末坂バス停留所 県道路肩	0.49	0.53	0.53
大木バス停留所 県道路肩	0.22	0.24	0.23
月舘総合支所 駐車場	0.16	0.18	0.17
国道399号飯舘村境 国道路肩	0.54	0.59	0.56
月舘相葎公民館 県道路肩	0.58	0.57	0.60
掛田上組集会所 市道路肩	0.38	0.37	0.37
掛田日向前団地 集会所前	0.31	0.29	0.31
県道白石月舘線飯舘村境 県道路肩	1.51	1.51	1.50
大柳字栢窪 市道路肩	0.46	0.45	0.46

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003